

2022 年 2 月 17 日

お客様各位



健全な取引ならびに安定供給に向けたお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より本協会会員企業に対しまして、格別なるお引立てを賜り厚く御礼申し上げます。

鑄造業界は、ユーザー様の競争力強化に貢献すべく、鑄物製品を継続的に安定供給するために製品開発、品質向上、納期確保、コスト低減等に日々努め、サポーター・インダストリーとして我が国のものづくりを支えてきております。

このような中、鑄物の原材料であるスクラップ、鑄物用銑鉄、アルミ、銅ならびに様々な副資材等が、国内外でのカーボンニュートラル実現への取組も相俟って高騰しています。特にスクラップにおいては、一昨年後半から急伸が続き、過去に類を見ない高騰から現在も高値維持の状況となっています。今後もこの傾向は継続していく見通しで、さらに、鑄物用に使用される上級スクラップは、市況価格からプレミア分を加えなければ入手出来ない状況も発生しており、今後は上級スクラップの入手自体が困難になることも危惧されています。

また、電力多消費産業である鑄造業にとって、再エネ賦課金の上昇や燃料費調整額の負担増は死活問題であります。加えて恒常化している人手不足や働き方改革への対応、今年度の最低賃金大幅上昇等々による労務費のコスト増により、当業界を取り巻く環境は非常に厳しさを増し、会員企業の自助努力の域を超え、大変厳しい企業運営を強いられている状態となっています。

これらの様々なコストアップ要因につきましては、経済産業省策定の「素形材産業取引ガイドライン」の「原材料価格、エネルギー価格、労務費等のコスト増の転嫁」に基づき、一層のご理解・ご協力をいただきたく、また、取引価格の設定に際しては、主原材料だけでなく副資材、エネルギー価格、労務費等々のコスト変動を折り込んだ価格を算出する価格スライド制、サーチャージ制の導入を改めてお願い申し上げます。

政府においては、これまでの「未来志向型の取引慣行に向けて（世耕プラン）」（平成 28（2016）年 9 月策定）による様々な取組に加え、昨年 12 月 27 日に「パートナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化施策パッケージ」を策定し、一層の取引適正化の推進を図っているところであります。

当協会でも、適正取引や付加価値の向上に繋がる望ましい取引慣行を普及、定着させる観点から、政府の動きに連動した自主行動計画の策定や IoT 活用等による生産性向上に向けた取組みの強化を図り、下請取引の適正化に向け一層努めてまいります。

つきましては、貴社を含むユーザー様のご協力を賜り、困難を克服して、今後とも安定供給の責任を果たしていく所存でございます。

何卒、鑄造業界の深刻な実情をご理解いただき、当協会の会員が貴社へ伺った際には、持続可能な産業基盤の維持のためにもご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

末筆ながら貴社の益々のご繁栄を心からご祈念申し上げます。

敬 具